事業所における自己評価結果（公表）　【放課後等デイサービス】

公表：令和3　年　2　月　16日　　事業所名：　放課後等ディサービス　Will Go

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				落ち着いて活動に取り組める十分なスペース、備品（パソコン等）は完備されています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○				利用者のニーズに対応できる体制にしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○				フロアは2階にあり、エレベーターが設置されており、事業所内は完全バリアフリーになっています。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			月1回ペースで上司面談を行っている。	年度初めに目標を設定し、半年に一回自己評価を行い業務の質の向上、個人のスキルアップに努めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			ミーティングの際は、必ず記録に残すようにしている。	評価表などにて保護者のニーズを把握し、職員間で共有し業務に反映できるよう毎日ミーティングを行っています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				ホームページにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		今後,検討いたします。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			子供の問題行動に対する対処の仕方の統一化に役立てています。	研修会は、子供の長期休暇（夏休みなど）以外に、週1回ペースで行っています。内容は、多岐にわたっており講師は、持ち回り制です。また、外部の研修などに参加した職員はその内容をレポートまたは研修会にて伝達することになっています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			変化に応じて計画を作り直している。	利用開始の際、保護者に聞き取りを行い本人のニーズ、家族の思いに沿った計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				標準化されたアセスメントシートを利用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			支援員一人一人の意見を取り入れ、プログラムを随時変更している。	日々の支援前にミーティングを行い、活動のプログラムの確認、検討、担当の確認を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				インターネット等を活用し、新しい情報を取り入れ工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日、長期休暇は、外活動を取り入れ、普段できない活動をしている。	短い時間で取り組める課題、じっくり時間をかけて取り組む課題など計画的に設定し実施しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				一人一人の特性に配慮し、個々の目標に沿った計画を立てています。
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			ミーティングの際は、必ず記録に残すようにしており休みの職員も共有できるようにしている。	支援開始前に、日々のスケジュール、支援内容、役割分担の確認、子供や学校について知り得た情報の共有のためにミーティングを行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○			支援終了後ではなく、翌日の支援前に上記の内容に加え、前日の振り返りを行い、気づいた点などを共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				業務日誌に、支援の記録を細かく記録し、支援の方法、支援の進捗状況が把握できるようにしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				保護者とのコミュニーケーションを図り、定期的に面談（コロナ禍のため、現在はTELにて対応）も行いながら目標を設定しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○				ガイドラインに沿って支援を行うように努めております。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				担当者会議前に必ず、職員間で会議を開き児童の状況について話し合い、理解を深めたうえで児発管が出席しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			児発管以外の職員も可能な限り同席し、情報の共有をしている。	送迎時に、児童の様子を伺ったり学校行事の予定をうかがうなど適切に情報の共有は出来ています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○				契約時に、子供の主治医の連絡先、連絡方法を保護者とともに話し合い、連絡ができる体制が整っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○		今後、検討いたします。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			現在、該当の利用者がおりません。当事業所は、系列に障害福祉サービスにおいて就労部門があるため、情報の共有、就労への移行がスムーズに行えると考えております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	依頼があれば受診に同行しています。	今後、検討いたします。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○			公共施設児童館、科学館、図書館、公園などに行き、障害のない児童と接する機会があります。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○		今後、検討いたします。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				送迎時やLINE、メール、連絡帳などで子供の状況について伝えあい、発達状況や課題について共通理解ができるよう努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				個別相談に随時応じるようにしております。相談会などは、現在行っていませんが今後検討したいと思っております。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				契約時、重要事項説明書、契約書の説明を行い、署名捺印をいただいています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				保護者からの相談には、随時応じております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		保護者会の開催は、今後検討いたします。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			記録に残すようにしています。	苦情に対しては、対応マニュアルが整備されており、窓口についても重要事項説明書に掲載しております。また、対応は迅速に行うよう努めております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			活動の様子がわかるように写真入りの回報を月1回ペースで発行しています。	行事予定表や会報は、毎月配布しています。連絡は、LINE，メールなどのSNSを導入しています。会報などは、ホームページにて活動の状況を週2回のペースでアップして
	35	個人情報に十分注意しているか	○				個人情報に関する書類は、すべて鍵付きのロッカーにて保管しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個々の特性に応じたコミュニケーション方法を実践しています。	理解しやすい方法を選んで伝達するように心がけています。（写真、イラスト、絵カードなど）
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		今後、検討いたします。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			必要なものは、掲示している。	マニュアルについては、職員間では共有できていますが、保護者へは、契約の際、説明を行っております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			長期休暇に実践するようにしています。	年2回訓練を予定しており、昨年は夏休みに行いました。その旨保護者向け会報を利用して、伝達いたしました。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				虐待防止の研修を行い、虐待の防止に努めております。今後も継続して研修を行いたいと思います。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				重要事項説明書にやむを得ない場合（危険が生じる可能性がある場合など）一時的に身体拘束をすることがあると記載しており、保護者にも説明し、ご理解をいただいています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○			現在該当児童はいません。契約時、食物アレルギーに関する聞き取りは、行っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○			いつでも入力、閲覧できるように共有ファイルに作成し、情報の共有ができるような環境が設定されております。

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。